「まちづくり方針」都市基盤施設の方針（交通結節点）

□築地まちづくりの大きな視点における位置づけ

- 戦略的に交通結節点を形成
- 船着場を、さらに、地域のにぎわいを創出し、舟運ネットワークの要となるよう、整備、運用すべき
- 海、川、陸のルートが交差する要所にあり、舟運、道路、バス、地下鉄などの広域性の高い交通インフからなる交通結節点を戦略的に形成すべき
- 隅田川の舟運ネットワークを活用すれば、浅草や羽田空港などとの連携も可能
- 地下鉄や首都高速晴海線、防災船着場などの整備、計画に関する調整が必要
- 船着場との一体性や、効果的活用を考慮した、交通広場など、交通結節機能・防災機能を確保すべき

□交通結節点に係る関連計画

｜地下鉄新線構想｜

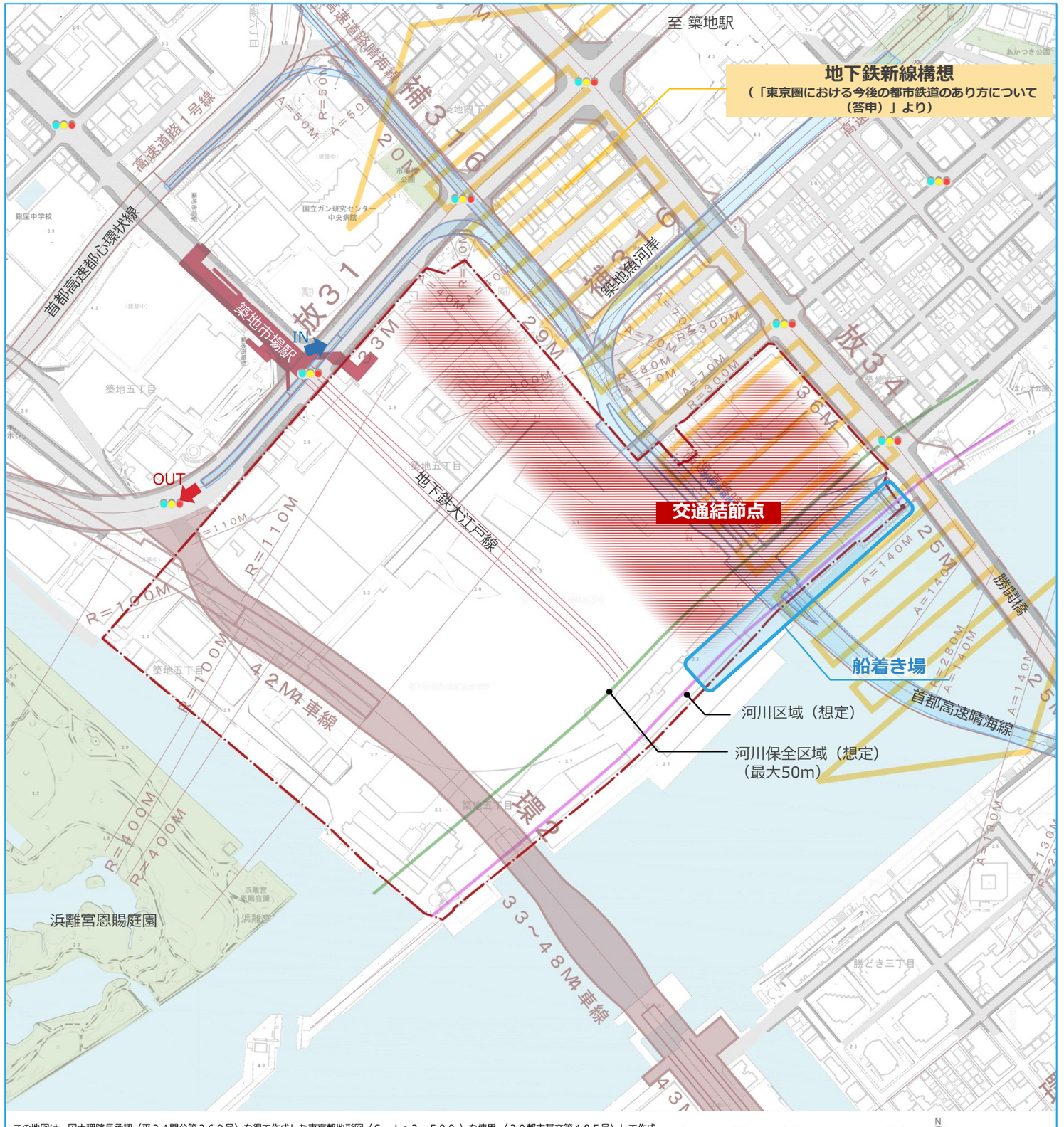
- 国交省交通政策審議会にて、国際競争力強化に資する鉄道ネットワークへの位置づけ（東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）/H28.4.20）

｜首都高速晴海線｜

- 平成5年に都市計画決定（築地市場内を通過し新大橋通りへの出入口を決定）
- 東雲JCT～晴海出入口までは、平成29年度末までに開通

｜舟運ネットワーク｜

- 東京都建設局にて、隅田川沿いの水辺のにぎわい拠点としてターミナルの整備を検討（「隅田川等における新たな水辺整備のあり方」H26.2）



この地図は、国土理院長承認（平２４関公第２６９号）を得て作成した東京都地形図（Ｓ＝１：２，５００）を使用（３０都市基交第４８５号）して作成したものである。また、道路網図を使用（（承認番号）３０都市基街都第１１３号、平成３０年７月２３日）している。無断複製を禁ずる。